

<報道発表資料>

E-mail: a2875-04@pref.saitama.lg.jp

カテゴリー: お知らせ

令和4年12月23日

令和4年度「下總皖一音楽賞」の受賞者を決定しました —2月13日(月曜日)に表彰式を行います—

日本近代音楽の基礎を作ったといわれる埼玉県加須市出身の偉人、下總 皖一（しもおさ かんいち）。このたび、その精神を受け継ぐ音楽家を表彰する「下總皖一音楽賞」の受賞者を決定しました。

今年度の受賞者は、「音楽文化発信部門」がさいたま市在住で声楽家、音楽教育家の折江 忠道（おりえ ただみち）氏、「音楽文化貢献部門」がピアニストで武蔵野音楽大学学長の福井 直昭（ふくい なおあき）氏です。

● 受賞者及び受賞理由 ※受賞者のプロフィールは別紙をご覧ください。

1 音楽文化発信部門

○ 折江 忠道 氏

声楽家（バリトン）

音楽教育家（昭和音楽大学客員教授）

【本県ゆかり】さいたま市在住

【受賞理由】

ヨーロッパ各地および国内で多数のオペラに出演し、現在も全国で活躍を続ける。

2016年に藤原歌劇団総監督に就任し、数多くのオペラ公演を成功に導いている。

また、昭和音楽大学客員教授、公益財団法人日本オペラ振興会オペラ歌手育成部統括として、後進の育成にも貢献している。

2 音楽文化貢献部門

○ 福井 直昭 氏

ピアニスト

音楽教育家（武蔵野音楽大学学長、同大学附属高等学校校長）

【本県ゆかり】 武蔵野音楽大学大学院修了、武蔵野音楽大学・同附属高等学校在勤

【受賞理由】

武蔵野音楽大学の要職を歴任。

また、現役の教授としてピアノ指導にあたり、多数の優秀なピアニストを世に輩出している。

県内自治体や文化団体、各種大学関連機関などと協力・連携し、本県をはじめ、全国の音楽文化の向上に貢献している。

● 表彰式の概要

1 日時

令和5年2月13日(月曜日)13時00分から13時30分まで

2 場所

知事公館 大会議室

※今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況により、変更する場合があります。

■ 参考1「下總皖一音楽賞」の概要

【創設】平成24年度（11回目）

【対象】本県ゆかりのプロの音楽家

【部門】音楽文化発信部門

国内外で幅広く活躍され、今後、更なる活躍が期待できる方
音楽文化貢献部門

長年にわたり、本県の音楽文化の向上に貢献されている方

【選考方法】下總皖一音楽賞選考委員会での審査を経て、埼玉県知事が決定

【選考委員会】金山茂人委員長（(公社)日本演奏連盟常任理事）他5名

【過去の受賞者】埼玉県ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0305/ongakusyuu/>

■ 参考2 下總皖一の功績

加須市出身の偉人。全国に知られた「たなばたさま」「花火」「野菊」などの童謡・唱歌をはじめ、日本各地の校歌、合唱曲、器楽曲、協奏曲、邦楽曲など多岐にわたる作曲を行い、その数は2,000とも3,000ともいわれている。

『和声学』『作曲法』などの著作で音楽理論を確立、東京藝術大学で音楽学部長を務め、数多くの素晴らしい音楽家を育てるなど、「作曲家」「音楽理論家」「音楽教育家」として日本近代音楽の基礎を作った。